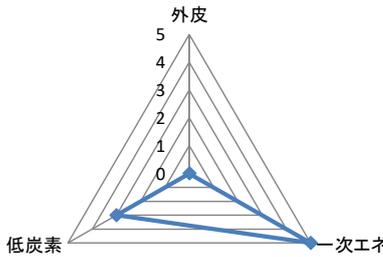


熊本県 建築物環境配慮制度  
熊本県独自の評価ツール：評価結果

v2022.0701

■ 建物概要			
建物名称	東京エレクトロン九州 合志事業所 ユーティリティ棟	建物用途	工場
建設地	合志市福原字三ツ迫1-18他	工事種別	新築
用途地域等	市街化調整区域	階数	地上2階
省エネ:地域区分	6地域	構造	S造
竣工時期	2025年7月 予定	評価の実施日	2023年9月11日
敷地面積	50,589 m <sup>2</sup>	作成者	村井
建築面積	2,955 m <sup>2</sup>	確認日	2023年9月14日
延床面積	4,445 m <sup>2</sup>	確認者	飯吉

■ 外観	■ 評価グラフ	評価ランク
		<b>B+</b>

● 外皮の熱性能 ⇒BPI (BPI <sub>m</sub> ) など	
設計値／基準値	
建築物全体	—
結果	

● 一次エネルギー消費量関連 ⇒BEI (BEI <sub>m</sub> )	
設計値／基準値	
(1)非住宅	0.44
(2)住宅	—
(3)建築物全体	0.44
結果	

◎ 低炭素化に資する措置 ⇒2項目以上を達成	
◎ ①: 節水に資する機器を設置	
◎ ②: 雨水、井戸水又は雑排水利用のための設備を設置	
— ③: HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)又はBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)を設置	
— ④: 太陽光等の再生可能エネルギーを利用した発電設備及びそれと連系した定置型の蓄電池を設置	
◎ ⑤: 一定のヒートアイランド対策	
— ⑥: 住宅の劣化の軽減に資する措置	
— ⑦: 木造住宅若しくは、木造建築物	
— ⑧: 高炉セメント又はフライアッシュセメントを構造耐力上主要な部分	

## ◎ 低炭素化に資する措置

印刷:モノクロ  
設定済み

・適宜、箇条書き等で記入してください。

・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

選択的項目	【該当】	計画上の配慮事項
①:節水に資する機器	⇒⇒	・トイレ衛生器具について、節水型フラッシュタンク式大便器、節水タイプの自動洗浄小便器を採用します。 ・洗面器は自動水栓、オートディスペンサー水石鹸を採用し、節水を図ります。
②:雨水、井戸水又は雑排水利用のための設備	⇒⇒	・敷地内に井戸を3ヵ所新設します。3本の井戸で揚水した井水を一次受水槽に貯水し、建築設備用、ユーティリティ用、敷地内植栽用散水として有効利用します。
③:HEMS 又は BEMS		
④:太陽光等による発電設備及びそれと連系した蓄電池		
⑤:一定のヒートアイランド対策	⇒⇒	・敷地内に緑地を計画し、敷地面積の約19%以上の緑地面積を確保します。
⑥:住宅の劣化の軽減		
⑦:木造住宅若しくは、木造建築物		
⑧:高炉セメント又はフライアッシュセメントを構造耐力上主要な部分に使用		
その他		